

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第1区分
 【発行日】平成23年9月29日(2011.9.29)

【公開番号】特開2009-101345(P2009-101345A)
 【公開日】平成21年5月14日(2009.5.14)
 【年通号数】公開・登録公報2009-019
 【出願番号】特願2008-249835(P2008-249835)
 【国際特許分類】

B 0 5 D 3/00 (2006.01)
 B 0 5 D 1/26 (2006.01)
 B 0 5 C 11/10 (2006.01)
 H 0 1 J 9/02 (2006.01)
 B 0 5 C 5/02 (2006.01)

【F I】

B 0 5 D 3/00 D
 B 0 5 D 1/26 Z
 B 0 5 C 11/10
 H 0 1 J 9/02 F
 B 0 5 C 5/02

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

保持手段に保持された被塗布部材および塗布器の少なくとも一方を相対的に移動させながら、塗布器の吐出口から塗布液を吐出して被塗布部材の被塗布面に塗布膜を形成する塗布方法において、塗布前、または塗布中に、該保持手段側からレーザ光を該被塗布部材を通過させて、該被塗布部材と対向する該塗布器の吐出口面に照射し、該被塗布部材の被塗布面からの反射光、および該塗布器の吐出口面からの反射光を受光して、該保持手段側から測定した該被塗布面の位置および該保持手段側から測定した該塗布器の吐出口面の位置の差より該塗布器の吐出口面と該被塗布部材の被塗布面との間隙を測定することを特徴とする塗布方法。

【請求項2】

前記保持手段側からレーザ光を前記被塗布部材を通過させて、該被塗布部材と対向する前記塗布器に照射し、該塗布器上のレーザ光照射位置を移動させながら該塗布器からの反射光を受光し、該保持手段側から測定した該被塗布面の位置および該保持手段側から測定した該塗布器の位置の差が最も小さくなる値を塗布器の吐出口面と被塗布部材の被塗布面間の間隙値にすることを特徴とする請求項1に記載の塗布方法。

【請求項3】

塗布前、または塗布中に、前記測定された被塗布部材の被塗布面と塗布器の吐出口面との間隙が所定の間隙値になるように塗布器を昇降させて調節することを特徴とする請求項1または2に記載の塗布方法。

【請求項4】

請求項1～3に記載の塗布方法による工程を有するプラズマディスプレイパネルの製造方

法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】塗布方法およびプラズマディスプレイパネルの製造方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明のプラズマディスプレイパネルの製造方法は、上述の塗布方法を用いてプラズマディスプレイパネルを製造することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】